

独立行政法人情報処理推進機構契約監視委員会第19回会合 議事概要

1. 日時

2019年5月31日（金）10:00～13:00

2. 場所

独立行政法人情報処理推進機構 15階委員会室3

3. 出席者

櫻井委員長、渋谷委員、藤野委員、竹田委員、宮地委員

4. 議事

- (1)平成30年度の契約状況について
- (2)平成30年度調達等合理化計画自己評価について
- (3)令和元年度調達等合理化計画案について
- (4)個別案件審議について
- (5)その他の報告事項

5. 議事概要

(1)平成30年度の契約状況について

事務局からの平成30年度下期分の契約状況に関する説明に基づきその内容を点検し、確認された。

- ① 一者応札・一者応募となった契約：一般競争入札：9件、企画競争：0件、事前確認公募：26件
- ② 競争性のない随意契約（特命随意契約）：8件

(2)平成30年度調達等合理化計画自己評価について

事務局からの平成30年度調達等合理化計画自己評価に関する説明に基づきその内容について点検し、確認された。

(3)令和元年度調達等合理化計画案について

事務局から令和元年度調達等合理化計画案に関する説明を行った。

調達等合理化計画案の2. 重点的に取り組む分野の「評価指標」については、一者応札を低減するための「当該取組の実施結果」とする事務局案に対し、委員からは、取組みがわかるような定量的な評価指標を定めることが肝要であるとの意見があった。

同評価指標については、財務部及び事務局で見直しを行ない、あらためて各委員に伝えることとした。

【その後、見直し案について委員間で議論が重ねられた結果、重点的に取り組む分野の「評価指標」については、「一者応札の点検結果」とすることで結論を得た。】

(4)個別案件審議について

事務局からの平成 30 年度下期に実施した一者応札 9 件と新規の特命随意契約 6 件の説明に基づきその内容を点検し、確認された。

<委員からの主な意見等>

○現行随意契約になっている案件でも、競争性があることを確認できた時点で競争入札を検討してもらいたい。

(5)その他の報告事項

事務局から以下の報告を行った。

- ・一般競争入札における事務処理誤りについて
- ・政府調達の実施状況について

以上